

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園・国定公園等整備事業））

都道府県名		山梨県		対象地域名		富士箱根伊豆国立公園（富士山地域）		評価年度	令和 2 年度	
事業実施期間		平成 27 年度～令和 元 年度		事業費		180,000 千円		（うち国費 90,000 千円）		
事業の実施内容		富士箱根伊豆国立公園の三ッ峠山線道路（歩道）事業について老朽化対策として、階段工、棧橋工、ベンチ、卓、横断工及び案内標識等の整備を行った。精進口五合目休憩所事業について老朽化対策として、休憩所施設解体撤去、園地整備を行った。また、御庭奥庭園地事業について老朽化対策及び国際化対策として案内標識整備を行った。								
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		三ッ峠歩道を整備することにより登山者数がH26年度の20,347人から増加すること図ったが、R2年度はコロナ渦の行動制限より13,941人に減少した。精進口五合目休憩所事業の整備を行うことにより自然解説（五合目コース）の利用者数がH26年度の360人からR1年度は557人に増加した。御庭奥庭園地事業の整備を行うことにより自然解説（奥庭コース）の利用者数がH26年度の809人から増加すること図ったが、富士山登山者数及び五合目利用者数の減少傾向もあり、R1年度は712人に減少した。							
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価	
						基準年度	目標年度	達成年度		
			三ッ峠歩道の登山者数	人	三ッ峠歩道を整備することにより登山者数が増加する。	20,347	30,000	13,941	R2年度はコロナ渦の行動制限という理由により大幅に減少した。	
	その他の指標	自然解説（五合目コース）の利用者数	人	園地整備により自然観察や散策利用者が増加する。	360	1,200	557	目標値には届かなかったが、H26年度から増加した。		
					H26	R1	R1			
809					1,300	712	富士山登山者数及び五合目利用者数の減少傾向もあり、目標値には届かず、H26年度から減少した。			
その他の指標	自然解説（奥庭コース）の利用者数		標識整備により自然観察や散策利用者が増加する。	H26	R1	R1				
整備に伴う取り組みの実施状況		観光施設を整備することにより施設の利便性を高め、来訪者の満足度を高めることにより来訪者の増加を図った。この整備に合わせて施設の維持管理を行い、更なる満足度の向上に努めた。								
今後の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・三ッ峠歩道の他の区間について老朽化に伴う整備を順次検討する。 ・富士山五合目に関する事業については世界遺産富士山課で行う。 								

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園・国定公園等整備事業））

都道府県名	山梨県		対象地域名	秩父多摩甲斐国立公園（山梨・長野地域）			評価年度	令和 2 年度	
事業実施期間	平成 28 年度～令和 元 年度		事業費	45,000 千円			（うち国費 22,500 千円）		
事業の実施内容	秩父多摩甲斐国立公園（山梨県地域）の増富温泉道路（歩道）事業について老朽化対策として、木製橋梁工等の整備を行った。 また、西沢渓谷道路（歩道）事業について老朽化対策及び国際化対策として案内標識整備、公衆トイレ整備及び路側土留工等の整備を行った。								
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況	増富温泉歩道を整備することにより登山者数がH25年度の808人からH30年度は902人に増加した。 西沢渓谷歩道施設を整備することにより来訪者がH21年度の70,001人から増加すること図ったが、R2年度はコロナ渦の行動制限より42,750人に大幅に減少した。このため、今後の来訪者数増加に期待したい。							
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価
						基準年度	目標年度	達成年度	
		増富温泉歩道の登山者数	人	増富温泉歩道を整備することにより登山者数が増加する。	808	900	902	目標値を達成できた。	
					H25	H30	H30		
	西沢渓谷来訪者数	人	施設を整備することにより、来訪者が増加する。	70,001	75,000	42,750	R2年度はコロナ渦の行動制限という理由により大幅に減少した。		
H21				R2	R2				
その他の指標									
整備に伴う取り組みの実施状況	観光施設を整備することにより施設の利便性を高め、来訪者の満足度を高めることにより来訪者の増加を図った。この整備に合わせて施設の維持管理を行い、更なる満足度の向上に努めた。								
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 増富休憩舎の清掃工事等をR3年度に実施する予定。 西沢渓谷歩道にある二俣吊橋補修工事（長寿命化工事）及び滝見橋復旧工事（老朽化対策工事）をR3年度から実施する予定。 								

別添 3

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園・国定公園等整備事業））

都道府県名	山梨県		対象地域名	南アルプス国立公園（山梨・長野地域）			評価年度	令和 2 年度	
事業実施期間	平成 29 年度～令和 元 年度		事業費	30,000 千円			（うち国費 15,000 千円）		
事業の実施内容	南アルプス国立公園の白根山系縦走線道路（歩道）事業について老朽化対策として、木製梯子工13か所、木製階段工3箇所等の整備を行った。								
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況	白根山系縦走線歩道を整備することにより登山者を増加し、北岳山荘の利用者数がH27年度の9,269人から増加すること図ったが、R2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため山荘が休業した。このため、今後の利用者数増加に期待したい。							
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価
						基準年度	目標年度	達成年度	
		北岳山荘の利用者数	人	施設を整備することにより、利用者が増加する。	9,269	9,500	0	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため山荘が休業したため、利用者数は0人となった。	
					H27	R2	R2		
	整備に伴う取り組みの実施状況	観光施設（登山道）を整備することにより施設の安全性及び利便性を高め、来訪者の満足度を高めることにより来訪者の増加を図った。この整備に合わせて同路線の維持管理を行い、更なる満足度の向上に努めた。							
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度から北岳山荘の改修工事を予定。 ・R4年度から登山の起点地となる広河原に新広河原山荘（管理者：南アルプス市）が完成・供用開始予定。 								